

# 施工業者様へ

洗浄水量を「大6L/小5L」→「大8L/小6L」へ変更することもできます。

※自治体によって洗浄水量の規制がある場合、下記手順で大6L/小5L仕様を大8L/小6L仕様としてお使いいただけます。

※洗浄水量の変更の際は、以下の手順に沿って正しく行ってください。

### 1 タンク内の水を流す

①止水栓を閉める  
(マイナスドライバーで右に回す)

②タンク内の水を流す

### 2 タンクふたとカバーを外す

**注意**  
タンクふたは落とさないように注意する  
破損してけがを  
するおそれがあります。

垂直に持ち上げて  
ください。

### 3 浮玉レバーを外す

浮玉レバーの根元をつまんで外す。

### 4 排水弁、レバーを取り外す

<小側> <大側>

①ピンを外す

①フックの両端をつまむ。 ②垂直に持ち上げる。

①フックバーに指をかける。 ②垂直に持ち上げる。

②レバーを外す

### 5 大側の浮玉位置を変更する

①玉鎖を排水弁から外し、スリーブを取り外した状態で玉鎖を排水弁に元の状態に取り付ける。

① 排水弁 外す

スリーブ 外す

玉鎖 取り付ける

**注意**

玉鎖を排水弁に取り付ける際は、下から2玉目と3玉目の間を差し込む

必ず実行

差し込む位置を間違えると止水不良および洗浄不良の原因になります。

### 5 大側の浮玉位置を変更する (つづき)

②浮玉下部の止め輪を外す。

③浮玉を排水弁に当たるまで下げる。

④先程外した止め輪を浮玉の上部に取り付ける。

※止め輪は浮玉のズレを防止するものですので、玉鎖に奥まで差し込んでください。また、浮玉が上下に動かないことを確認してください。

② 大側浮玉 外す 止め輪

③ 排水弁に当たるまで下げる

④ 大側浮玉 取り付ける 止め輪

※洗浄水量を「大6L/小5L」に戻すためには、手順①で取り外したスリーブが必要になります。  
※取り外したスリーブは取扱説明書と一緒にお客様にお渡しください。

### 6 小側の浮玉位置を変更する

①浮玉下部の止め輪(大)を外す。

②浮玉をスリーブに当たるまで下げる。

③先程外した止め輪(大)を浮玉の上部に取り付ける。

※止め輪は浮玉のズレを防止するものですので、玉鎖に奥まで差し込んでください。また、浮玉が上下に動かないことを確認してください。

① 小側浮玉 止め輪(大) 外す

② スリーブに当たるまで下げる

③ 止め輪(大) 取り付ける

浮玉位置変更図

「大6L/小5L」 → 「大8L/小6L」

### 7 排水弁を取り付ける

排水弁の取り外しと逆の手順で取り付ける。

**注意**

玉鎖が交差しないように取り付ける

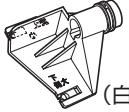
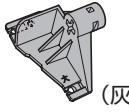
必ず実行

玉鎖が交差したり、排水弁が確実に差し込まないと止水不良になります。

<大側> <小側>

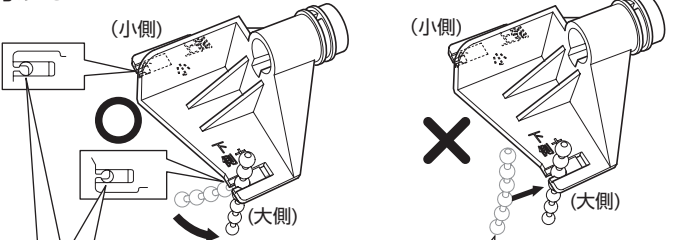
裏面につづく ➡

**8 レバーを選択する**  
 レバーは2種類同梱されています。  
 ※対象のレバーを選び、必ず交換してください。  
 現場にアプリコットCシリーズ (TCF40\*\*系) の便器洗浄ユニットが設置されている場合、現場に設置されている洗浄レバーをご使用ください。

手動用洗浄レバー  (白色)	自動洗浄レバー  (灰色)
--	--

**9 レバーハンドルを取り付ける**  
 レバーハンドルの取り外しと逆の手順で取り付ける。

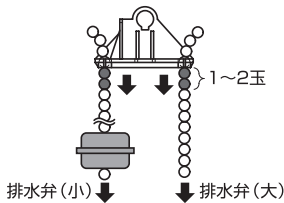
**10 玉鎖を取り付ける**



玉を横にして丸いへこみ部に入れ、スリットの奥まで確実に差し込む。

玉を横にせず丸いへこみ部に入ると、奥まで入らず、玉鎖が作動中に外れることがあります。

排水弁が上がらない程度に玉鎖を張った状態でスリットに差し込む。(レバー部スリットに差し込むことで適度(約1~2玉)にたるみます)

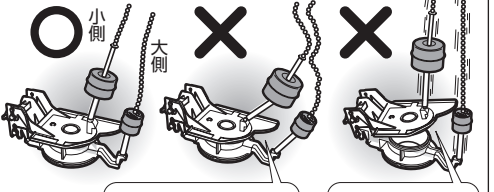


※排水弁形状が異なる場合があります。

**注意事項**

【玉鎖の長さ調整】  
 ・玉鎖がたるみすぎたり、張りすぎたりしていないこと

たるみ過ぎ      張り過ぎ



ハンドルを回しても弁が開かず洗浄しない

弁が開いていて止水しない

**11 動作確認**  
 排水弁・レバーハンドルの動作を確認する。

- ①レバーが「大」側、「小」側へ正常に作動すること。
- ②レバーがボールタップなどに干渉しないこと。
- ③レバーハンドルを「大」側に回したときは上下両方の弁が開くこと。
- ④レバーハンドルを「小」側に回したときは上側の弁のみが開くこと。

※正常に作動しない場合には、玉鎖のたるみが1~2玉ぐらいになるように調節してください。

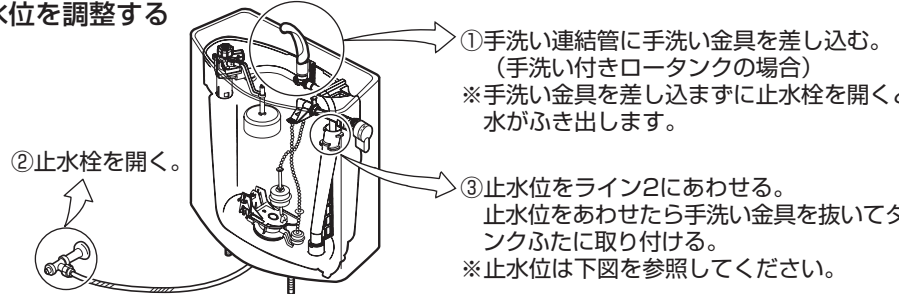
**12 浮玉レバーを取り付ける**

**注意**

玉鎖が交差しないように取り付ける  
 浮玉レバー両側の突起を「カチッ」というまで確実に差し込む


必ず実行 玉鎖が交差したり、浮玉レバー、排水弁が確実に差し込まれないと止水不良になります。

**13 止水位を調整する**



- ①手洗い連結管に手洗い金具を差し込む。(手洗い付きロータンクの場合)  
 ※手洗い金具を差し込まずに止水栓を開くと水がふき出します。
- ②止水栓を開く。
- ③止水位をライン2にあわせる。止水位をあわせたら手洗い金具を抜いてタンクふたに取り付ける。  
 ※止水位は下図を参照してください。

止水位をライン2に合うように調整してください



オーバーフロー管      ライン3  
 ライン2  
 ライン1

浮玉      浮玉レバー

右回し      左回し

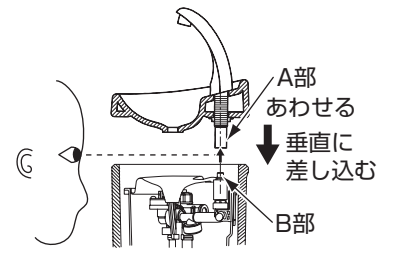
- ・右回し・・・止水位が下がります。
- ・左回し・・・止水位が上がります。

**14 カバーとタンクふたを元に戻す**

**注意**

手洗い付きの場合、A部をB部に必ず差し込む

必ず実行 確実に差し込まれていないと水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



A部      あわせる  
 ↓ 垂直に  
 差し込む  
 B部

施工後は下の表に沿って最終確認を行ってください。

最終確認項目	確認の仕方	対処法
タンクに貯水できること 貯水完了時に止水すること	止水栓を開き通水させてください。 貯水完了時に止水するか確認してください。	排水弁がしっかりと取り付けられているか確認してください。
玉鎖が交差していないこと	玉鎖を確認してください。	玉鎖をかけ直してください。
レバーハンドル操作時に大・小の弁が確実に開くこと また、洗浄完了時に確実に閉まること	便器洗浄を行ってください。	排水弁がしっかりと取り付けられているか確認してください。 また、玉鎖が交差していないことを確認してください。